

授業科目(ナンバリング)	海外ソーシャルワーク研修 (DG101)			担当教員	柳 智盛・韓 榮芝・野田 健		
展開方法	講義・実習	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
近隣諸国の社会福祉の視察・見学及び福祉施設の調査などの実践的な学びを通して、世界とりわけアジアにおける社会福祉の現状や問題について考える。社会福祉を専門領域として論理上のことだけでなく日本の福祉の実践（福祉機関、施設見学）も含めた総合的な授業である。大学内の授業・実習を通して学んできた社会福祉における知見を踏まえて、海外の社会福祉を実際に目で見て研修し実態を知ることにより、国内外の社会福祉の現状及び問題について再認識を図り、社会福祉研究を充実向上させることがねらいである。							④⑤⑥⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	専門的な研修について、研修記録を基に書面で体系的にまとめることができる。				報告書	5%	
情報収集、分析力	目的に沿った情報収集及び整理ができる。				事前学習 事後学習	5% 5%	
コミュニケーション力	専門的な研修について適切に発表ができる。				報告書 報告会	25% 25%	
協働・課題解決力	周囲と有意義なディスカッションに従事することができる。				意見交換	5%	
多様性理解力	研修先での社会・文化的な文脈を尊重した態度・行動を意識することができる。				研修参加	30%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
報告会（25%）は、研修成果の適切な発表をグループ単位で評価する。報告書（30%）は、研修成果の体系的な記述をグループ単位で評価する。事前及び事後学習（5%ずつ）は、慣習前の情報収集と研修後の情報整理の取り組みを評価する。意見交換（5%）は、講義中及び研修中の意見交換会やディスカッション場面での積極的な発言を評価する。研修参加（30%）は、国内の施設見学及び海外研修中の態度と行動を評価する。フィードバックはポートフォリオを通して、個別及び集団指導の中で行う。なお、研修に参加しなければ単位の取得ができない。							
授業の概要							
担当教員により作成された実習計画ガイドラインに従い、事前学習において国内外の社会福祉の関連知識を深め、国内の施設見学や海外研修先の視察・見学・調査に向けたグループワークを行う。研修内容は、近隣諸国の社会福祉施設の視察・見学及び現地の専門家・大学生との意見交換会を行う。研修日程は最低2泊3日以上とする。事前・事後学習と国内外における研修（72 時間以上）により構成される。なお、授業時間外での（施設見学など）授業実施の可能性もある。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。							
教科書・参考書							
教科書：指導教員の指示による。 参考書：『社会福祉改革とNPOの勃興－中国・日本からの発信』沈 潔編著 2003年9月 日本僑報社 指定図書：『国際ソーシャルワークを知る』木村 真理子, 小原 眞知子他 2022年4月 中央法規出版							
授業外における学修及び学生に期待すること							
国内外の社会福祉関連の政策・施設状況などを十分に理解して、研修に臨むこと。 事前学習の出席率の低い学生は、海外研修に参加できないことがある。 海外研修の際は、団体行動であることに注意し、担当教員の指示に従うこと。他の学生の迷惑になる行動や授業目的に逸脱するような行為は慎むこと。別途研修費を納める必要がある。							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	総合オリエンテーション	本科目の概要、海外研修の趣旨について理解する。 (柳・韓・野田)	予習：履修同期の整理 復習：シラバスの熟読
2	世界の社会福祉①	世界の社会福祉について学ぶ。(柳)	予習：世界の社会福祉について整理 復習：配布資料の熟読
3	世界の社会福祉②	世界の社会福祉について学ぶ。(柳)	予習：第2回の授業内容について整理 復習：配布資料の熟読
4	日本の社会福祉①	国内の福祉施設、機関について学び、理解を高める。 (野田)	予習：福祉施設、機関について調べる 復習：調査内容をまとめる
5	日本の社会福祉②	国内の福祉施設、機関について学び、理解を高める。 (野田)	予習：福祉施設、機関について調べる 復習：調査内容をまとめる
6	研修先の社会福祉①	研修先の情報収集を行う。(韓)	予習：参考文献の収集 復習：参考文献の熟読
7	研修先の社会福祉②	研修先の情報収集を行う。(韓)	予習：参考文献の収集 復習：参考文献の熟読
8	出発前オリエンテーション	海外研修に向けた諸手続きなどの最終確認を行う。 (柳・韓・野田)	予習：疑問点の整理 復習：指示通り行動
9	海外研修①	海外研修期間中は視察・見学・意見交換会（ディスカッション）などを行う。(柳・韓・野田)	予習：各視察先の下調べ 復習：研修記録の整理
10	海外研修②	海外研修期間中は視察・見学・意見交換会（ディスカッション）などを行う。(柳・韓・野田)	予習：各視察先の下調べ 復習：研修記録の整理
11	海外研修③	海外研修期間中は視察・見学・意見交換会（ディスカッション）などを行う。(柳・韓・野田)	予習：各視察先の下調べ 復習：研修記録の整理
12	海外研修④	海外研修期間中は視察・見学・意見交換会（ディスカッション）などを行う。(柳・韓・野田)	予習：各視察先の下調べ 復習：研修記録の整理
13	事後学習①	海外研修の成果発表を準備する。(柳・韓・野田)	予習：研修記録の再確認 復習：発表資料の作成
14	事後学習②	海外研修の成果発表を準備する。(柳・韓・野田)	予習：発表資料の作成 復習：発表資料の修正
15	報告会	海外研修の成果発表を行う。(柳・韓・野田)	予習：発表の練習 復習：報告書の作成